

ジブチ月例報告 (2023年2月)

在ジブチ日本国大使館

【内政】

- 2月1日、国家人権委員会 (CNDH) が、1月30日の深夜に発生したディキル警察署における被拘束者の死亡事案に関して、弔意を表明するとともに、司法当局が適切に調査を実施中である旨を発表。
- 2月24日、国民議会選挙が実施。Union pour la Majorité Présidentielle (UMP) が58議席、Union pour la Démocratie et la Justice (UDJ) が7議席を獲得。
- 2月26日、アフリカ連合、アラブ連盟、政府間開発機構 (IGAD)、イスラム協力機構 (OIC) から構成される国民議会選挙の国際監視団は、同選挙が平穏かつ平和なうちに円滑に実施されたと評価する旨発表。

【外政】

- 2月1日、アブドゥルカデル首相が、新たに着任した Genk Uraz 駐ジブチ・トルコ大使の表敬訪問を受け、二国間関係のさらなる発展について協議。
- 2月1日、ゲレ大統領が、ソマリアで開催されたアフリカ連合ソマリア移行ミッション (ATMIS) 首脳会議に出席。同会議には、ハッサン・ソマリア大統領、ルト・ケニア大統領、アビィ・エチオピア首相が参加し、ソマリア国軍と ATMIS によるアル・シャバーブ掃討について協議。
- 2月6日、ゲレ大統領が、エルドアン・トルコ大統領にトルコ東部で発生した地震による犠牲者、被災者への追悼の意を表明。
- 2月14日、ゲレ大統領が、イタリアから帰国途上のハッサン・シェイク・ソマリア大統領とジブチ空港貴賓室で会談。二国間関係、アル・シャバーブへの対処などについて協議。
- 2月17日、ゲレ大統領が、エチオピア・アディスアベバで開催された第36回 AU サミットに出席。ゲレ大統領はスピーチでジブチを地域及びアフリカ大陸経済のハブとして位置付け、金融、e コマース、情報通信技術のためのマルチサービスプラットフォームを提供すると述べた。

【経済・開発】

- 2月5日、オマール労働大臣が、新たに着任した Tanja Pacifico 国際移住機関 (IOM) ジブチ常駐代表の表敬訪問を受け、労働省と IOM の間の協力関係の強化について協議。
- 2月8日、デジタル経済・イノベーション担当省が、IGAD とブルーエコノミー国家戦略開発に関する協議会を共催。港湾局など行政部門ほか、ジブチ電力公社 (EDD)、ジブ

チ水道公社（ONEAD）、沿岸警備隊、海軍などが参加し、持続可能な漁業と水産養殖の促進、海洋汚染、資源管理等について協議。

● 2月9日、オマール労働大臣、イリヤス経済・財政大臣、バリー世銀駐ジブチ代表出席のもと、国民教育・職業訓練省が青少年のスキル開発プロジェクトの発足式典を開催。雇用創出のための同プロジェクトには、世界銀行が1,500万米ドルを拠出。

● 2月13日、ジブチ地熱公社（ODDEG）が、Leap-RE プロジェクトの立ち上げワークショップを開催。EUとAUによる再生可能エネルギーの開発プロジェクトチームがジブチ市とアベ湖でデータ収集予定。

● 2月13日、ジブチソブリンファンド（FSD）が、スタートアップ企業 DjibEnergy Services の少数株式を取得。2023年以降、FSDはクラウドファンディングを通じ起業家らの支援を継続。

● 2月28日、ゲレ大統領はジブチ北部の都市タジュラに完成した複合型ホテル Gadileh Resort Hotel の落成式に政府関係者、各国外交団代表らとともに出席。

【保健・衛生・社会】

● 2月2日、ムスタファ国民教育・職業訓練大臣が、キューバのハバナで開催された G77（77か国グループ）と中国による2023年国際教育会議にオンライン参加。同大臣は、人的資本開発の促進を協調し、現在のジブチの初等教育就学率92%を2025年までの完全就学を目指すとしてオンラインスピーチで述べた。

● 2月6日、モハメド商業・観光大臣が、「デジタル時代の民芸品」をテーマに人民宮殿で全国民芸品の日を開催。ゲレ大統領夫妻、政府、国際機関、軍関係者らを招き、ジブチの民芸品の歴史や作品を展示。

● 2月6日、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、IGAD、アフリカ開発銀行による合同代表団が、ジブチ難民・被災民保護局（ONARS）を訪問。難民女性、帰還者、難民受入れコミュニティの経済的自立のための投資機会の創出について協議。

● 2月8日、ジブチ商工会議所が、モナコ起業家クラブ、モナコ経済委員会が率いる代表団とジブチ・モナコ経済フォーラムを共催。同9日、代表団はゲレ大統領と面会し、観光、金融、輸送でのパートナーシップの強化に加え、気候や環境に関する研究分野での協力についても協議。

● 2月22日、香港のGX財団が国立ペルティエ病院敷地内でジブチ人対象の無料白内障手術キャンペーンを開始。2名の中国人眼科医により、20日間で400眼の手術を予定。

● 2月27日、アブドゥルカデル首相、ユスフ外務・国際協力大臣、アフメッド保健大臣、イスマン予算大臣、ヒボ青年・文化大臣及びカシム地方分権担当大臣らが出席したGX財団による白内障手術キャンペーン開始式が開催。また、同日、ゲレ大統領は Chan Ying-Yang・GX財団理事長の表敬を受けた。

【日本関係】

- 2月6日、第71回別府大分毎日マラソンで、ジブチから出場したイブラヒム・ハッサン選手が、2時間6分43秒の大会新記録で優勝。
- 2月7日、日本国大使館、ジブチ教育省、UNICEFの代表が参加し、バルバラ第3小学校にてトイレ施設の引渡式を実施。本件は令和2年度補正予算にて日本政府が出資したもの。
- 2月9日、日本国大使館とアンスティチュ・フランセが「日本文化のタベ」を共催。折り紙、書道、法被着用体験ブースの設置の他、自衛隊拠点が手作りどら焼きを提供。「千と千尋の神隠し」の上映も行われ、総勢200名ほどが参加。
- 2月14～16日、山崎統合幕僚長がジブチを訪問。ゲレ大統領、アブドゥルカデル首相、ザッカリア統合参謀総長、ユスフ外務・国際協力大臣への表敬を実施。
- 2月15日、大使公邸にて天皇誕生日祝賀レセプションを開催。大塚大使、山崎統合幕僚長のスピーチ後、自衛隊拠点による文化展示（花笠踊り）が行われた。
- 2月20日～21日、日本貿易振興機構（JETRO）アディスアベバ事務所長がジブチを訪問。ハディ港湾フリーゾーン庁長官、ユスフ商工会議所会頭を表敬。
- 2月23日～26日、池田日本船主協会会長を始めとする日本船主協会訪問団はジブチを訪問。ハディ港湾フリーゾーン庁長官、ワイス沿岸警備隊沿岸警備隊長官、ユスフ商工会議所会頭、アリ・ハッサン外務・国際協力省次官を表敬。

（了）